

令和5年6月12日

お客さま各位

かながわ信用金庫
理事長 平松 廣司

令和5年3月期決算の概況について

平素から、かながわ信用金庫に格別のご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに取り急ぎではございますが、令和5年3月期決算の概況をお知らせいたします。

なお、詳細な計数等につきましては、今後、ディスクロージャー誌や業務報告書などでご報告いたします。

かながわ信用金庫は、地域に根を張り、地域の発展なくして信用金庫の発展はないとの信念のもと、創造的伴走型の「強くてやさしい信用金庫」となるべく、役職員一丸となって取り組んでおります。今後とも、変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

● 71期連続の黒字決算となりました。

令和5年3月期決算は、71期連続の黒字決算となりました。項目別では、業務収益は対前期比123百万円増加の14,164百万円、本業の利益を示すコア業務純益（除く投資信託解約損益）は対前期比553百万円増加の3,179百万円となりました。特別損益や税金などを加減した最終的な利益である当期純利益は2,100百万円となり、2期連続で20億円を上回りました。

	令和5年3月期	令和4年3月期	増減額(増減比)
業 務 収 益	14,164百万円	14,041百万円	+123百万円(+0.87%)
コ ア 業 務 純 益 (除く投資信託解約損益)	3,179百万円	2,625百万円	+553百万円(+21.09%)
当 期 純 利 益	2,100百万円	2,238百万円	△137百万円(△6.13%)

● 自己資本比率は7.40%となりました。

自己資本比率は、出資金・利益剰余金（毎年の利益の中から積み立てた内部留保）などの自己資本を貸出金などの資産に対してどのくらいの比率で保有しているかを示す計数で、金融機関の健全性を示す経営指標のひとつです。

令和5年3月期の当金庫の自己資本比率は、国内基準の4%を3.4ポイント上回る7.40%となりました。

● 預金積金残高は前期比190億円、貸出金残高は前期比300億円増加しました。

預金積金残高は、法人、個人のお客さまともに増加し、対前期比190億円増加して13,544億円となりました。

貸出金残高は、お客さまの資金ニーズにお応えした結果、対前期比300億円増加の6,468億円となりました。

	令和5年3月期	令和4年3月期	増減額(増減比)
預 金 積 金 残 高	13,544億円	13,354億円	+190億円(+1.42%)
貸 出 金 残 高	6,468億円	6,167億円	+300億円(+4.87%)

(お問い合わせ先)

かながわ信用金庫 経営企画部

〒238-0004 横須賀市小川町7番地

電話番号 046-826-1515

E-mail:kikaku@kanagawa-shinkin.co.jp

